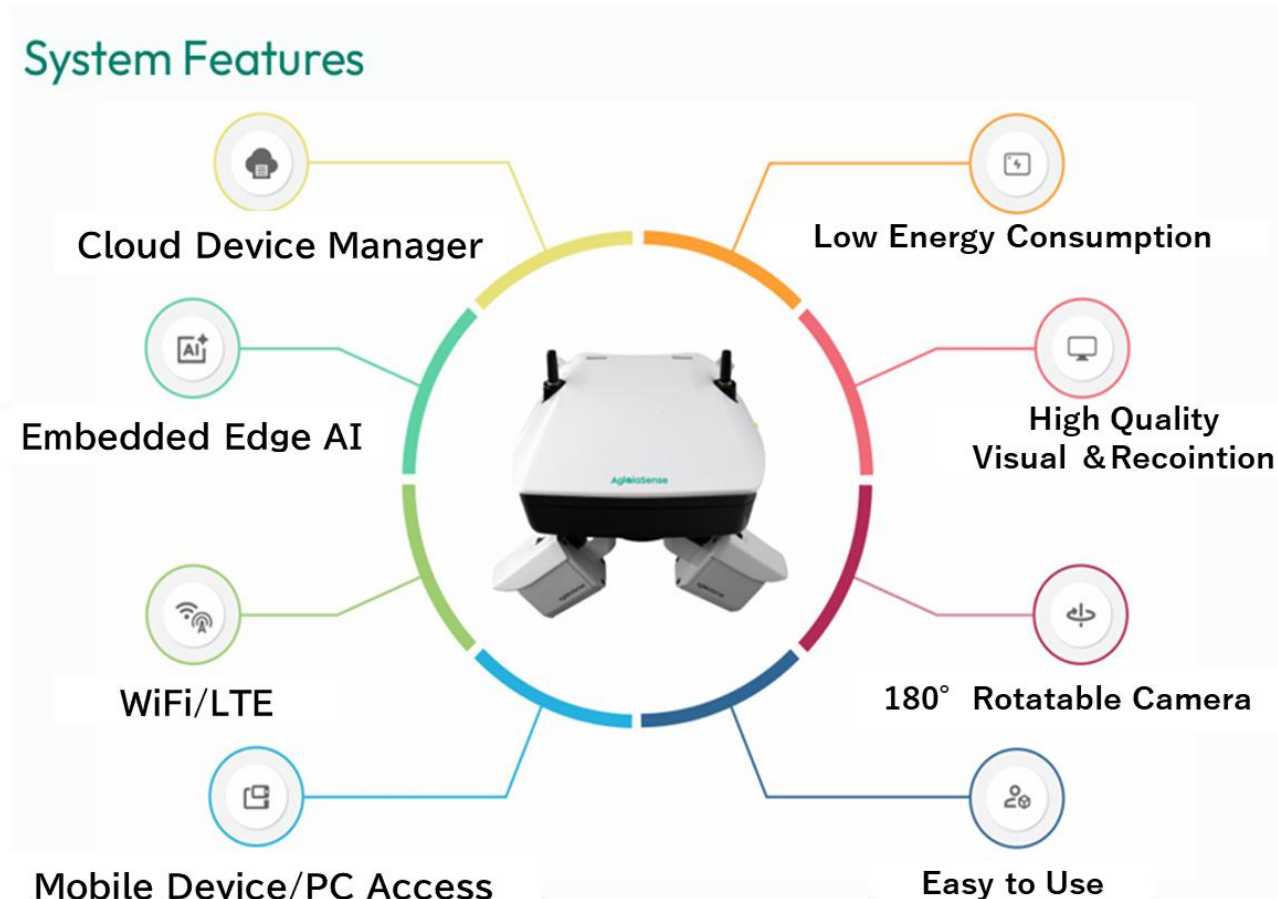


AI Sensing 合同会社は、米国 AglaiaSense 社が発表したエッジ AI ベースのスマートシティ向け画像処理ソリューション GS500 を販売開始致します。

- コンピュータ・通信機器

※このリリースは当サイトの会員によって投稿されたユーザー投稿のため、当サイト推奨のプレスリリースとは形式が異なる場合があります。

GS500 AI ビジョンシステムは、ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社（以下、ソニー）が商品化した世界初のインテリジェントビジョンセンサーIMX500 を搭載した最先端の GS500 カメラを搭載しています。スマートシティ構想など、屋外での広範囲なエッジ AI センシング技術を活用する用途を想定しています。本カメラは、IMX500 を用いたソリューションの効率的な開発・運用に寄与するエッジ AI センシングプラットフォーム「AITRIOS™」に対応することで、画像から得られるメタデータによるクラウド管理が可能となります。これにより、消費電力の削減及びプライバシーに配慮した運用ができます。



1,200 万画素センサーを搭載した GS500 は、シーン解釈とカメラ内での機械学習タスクの実行に優れています。IMX500 搭載によるエッジ AI 設計により、高速性能やセキュリティ強化のほか、さまざまなアプリケーションに適応可能なスケーラブルなシステム・アーキテクチャが強化されています。

また、PoE、WiFi、LTE-CatM1 などの柔軟な接続オプションにより、シームレスな設置とメンテナンスをサポートし、AI モデルやアプリケーションの OTA アップデートを可能にします。

際立った特徴は、データ最小化のアプローチです。ソニーの IMX500 センサーは、キャプチャの時点で視覚データをメタデータに処理します。データの匿名化によりプライバシーに配慮することが可能となります。GS500 はスマートシティインフラ、ロボットビジョン、および産業オートメーションにおけるプライバシーを重視した展開に理想的なソリューションとなっています。

エッジ AI 対応の GS500 ファミリーは、AI アプリケーションの開発や、環境負荷を低減可能な方法で従来型の公共施設をコスト効率よくアップグレードする際に、信頼性の高い有力な製品であり、低消費電力と拡張性、クラウド管理可能な特徴により、簡単に使用することができます。アプリケーションとしては交通制御や道路管理、カーブスペース（路肩の空間）の最適化利用、歩行者保護などを想定しており、ソリューションの性能向上及び簡素化を促します。

AI Sensing 合同会社は、この GS500 AI ビジョンシステムを提案するために、日本市場におけるサポート体制を大幅に強化することをお知らせいたします。本契約の締結により、AI Sensing はアグライアセンス社の高度な AI ビジョンシステムソリューションを日本のお客様に提供し、より迅速で効果的なサービスを展開してまいります。

Aglaiasense 社について

Aglaiasense（アグライアセンス）社は、Leopard Imaging 社から分離独立し、AI 搭載エッジセンシング技術に特化したスタートアップで、カリフォルニア州フリーモントを拠点に、スマートシティや産業自動化、A-IoT 領域向けに高度な映像センシングソリューションを提供します。同社は、自社開発のプロプライエタリ Edge-AI アルゴリズムによって高精度な検出・定量解析を実現し、スケーラブルで保守性に優れたアーキテクチャを提供しています。設立以来、実運用環境で信頼性の高いセンシングを追求し、「Enhancing AI Sensing for a Better World」（より良い世界のための先進センシング）というミッションのもと、人々のウェルビーイング向上を目指す同社は、今後もグローバル市場での展開を加速させていくと期待されています。

*AITRIOS および AITRIOS ロゴは、ソニーグループ株式会社またはその関係会社の登録商標または商標です。

メディア関係者の方はこちら

新規メディア登録はこちら

メディア専用ログインはこちら